

# 牛久市住井すゑ文学館

## いよいよ待望のオープン

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開館を再「延期」する場合があります。あらかじめご了承ください。  
文化芸術課(牛久シャトー内) ☎874・3121



住井すゑ(1950年代)



▲住井すゑ直筆の原稿や愛用の万年筆

令和3年

11/3 水祝  
午後1時より

※当日午前は開館式典のため、一般の方はご入館いただけません。ご了承ください。



郷土の偉人の功績を後世に継承し、  
周辺の文化遺産を活用した新たな  
観光拠点に

住井すゑ(1902～1997)は、奈良県出身の作家です。昭和10(1935)年に、農民文学者の夫・犬田卯(しげる)の郷里である牛久村城中(現・牛久市城中町)に家族で移住。以来この地で執筆活動を行い、自由と平等を訴える作品を数多く発表しました。なかでも長編小説『橋のない川』は大ベストセラーとなり、映画化もされました。

平成30(2018)年、住井すゑの書斎・抱樸舎等の建物と土地が、ご遺族より牛久市へ寄贈されました。改修工事を経て、令和3(2021)年に牛久市住井すゑ文学館として開館します。住井すゑおよびゆかりの人々の文学への関心と理解を深めていただくために、所蔵する資料の保存・展示を行います。周辺の文化遺産や自然とともに、ぜひお楽しみください。



再現した住井すゑの書斎



展示棟

住井すゑの書斎があった建物を改修し、原稿や蔵書、愛用品などを公開します。犬田卯、増田れい子らの蔵書や家族写真も展示。関連図書を観覧することもできます。



抱樸舎外観



抱樸舎

かつて学習会の教室として使用された抱樸舎は、周辺の文化遺産や観光案内を行う多目的ギャラリーとして無料で公開します。



利用案内	
開館時間	午前9時～午後4時30分 (最終入館は午後4時まで)
休館日	月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)、年末年始(12月28日～1月4日)
入場料	◆一般：100円 ◆団体(10人以上)：50円 ※高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1人は無料。 ※展示棟見学のみ有料。 ※11月3日(水・祝)～30日(火)は無料。

牛久市住井すゑ文学館 (〒300-1223 牛久市城中町77番) ☎869-8350 FAX869-8360



# 周辺散策を楽しもう♪

文学館周辺には、文化遺産や自然を楽しめるスポットが集まっています。眼前に広がる美しい牛久沼の自然とともに、「小川芋銭記念館 雲魚亭」や「河童の碑」、「牛久城跡」など周辺の文化遺産をめぐる拠点として、市の歴史や文化芸術の魅力をお楽しみください。



**B** 河童の碑



市指定文化財。小川芋銭を慕う人々によって建てられた記念碑で、河童の絵が刻まれています。

**C** 得月院



由良国繁の生母、妙印尼が開基。境内には妙印尼の五輪塔(市指定文化財)や小川芋銭から奉納された扁額「得月禅院」などがあります。

**D** 牛久城跡



戦国期牛久市西部を治めていた岡見氏の城。空堀と土塁が良好な状態で残っています。

**A** 小川芋銭記念館 雲魚亭



市指定文化財。明治から昭和にかけて活躍した画家・小川芋銭が最晩年を過ごしたアトリエ兼住居です。

## 住井すみ文学館 周辺観光 スポット

**F** 牛久市観光アヤマ園



総面積8,000平方メートルの敷地に約200品種、2万本のアヤマ、ハナショウブ、カキツバタがあり、開花時期には色とりどりに咲く花の魅力を楽しめます。



**E** 牛久沼かっぱの小径



公募により「牛久沼かっぱの小径」と名づけられた牛久沼沿いの遊歩道。ウォーキングをする方の姿が多くみられます。